



北村 あや子 区政ニュース

2025 年度国民健康保険料 値下げ！

今年度比 1 人あたり -3,781 円/年・23 区平均

毎年値上げが繰り返されてきた国民健康保険料。高すぎる保険料を何とかしてほしいと、区民の皆さんから度々伺っていました。私は国保連協や委員会などで値下げを求め続けてまいりました。今年 1 月には、物価高騰が続くなか値下げを求める申入れを都議団と共に行いました。国保料値上げへの批判と、値下げを求める区民の声が政治を動かし、来年度は国保料値下げとなります。

今回の値下げは、東京都が 2023 年度と 2024 年度の医療給付費の伸びを実際よりも大きく見込んだことにより、納付金増額と保険料大幅値上げされたことによるものです。簡単に言えば、結果としてこの 2 年間の保険料は、とりすぎたということです。

同時に国や東京都が法定外繰り入れ解消の圧力を強めているもとの、各自治体が都に対し納付金の引き上げに反対の意見を上げ、東京都は 2023 年度決算剰余金を追加活用し、納付金の増額を抑えることとしました。

日本共産党東京都議団、各区議団の国保料値下げを求める申入れ

(一部抜粋) 2025 年 1 月 14 日提出

1. 現状を認識し、特別区長会として、「法定外繰入の解消」優先でなく、保険料の大幅な引き下げを実施すること。
2. 国保財政の運営主体である東京都に対し、保険料の大幅引き下げのための都独自の財政支出を実施するよう、あらためて申し入れること。
3. 子どもの均等割軽減の拡充については、さらに 18 歳までの均等割を早急に廃止するようあらためて申し入れること。また特別区長会として、独自の上乗せ・横出しを行い、子どもの均等割をゼロにすることを申し合わせ実施すること。その財源を国、都にも求めること。
4. 国保の傷病手当金の支給を再開し、自営業者にも拡大すること。そのために必要な財政支出を都に求め、国として財政措置するよう働きかけること。また物価高騰対策での区民への給付金は収入認定に加え、保険料に跳ね返らないようにすること。
5. 来年度の基準保険料率の算定にあたっては、途中経過も含め、すべての情報を区民、区議会に明らかにし、区民参加を貫くこと。
6. 強権的な徴収強化、差し押さえはしないことを申し合わせること

均等割りそのまま、2026 年度法定外繰り入れはゼロならまた値上？

一方で、特別区で値上げの負担を軽減するとして納付金の 6% を法定外繰り入れで対応して毎年 1% ずつ減らす激変緩和策を実施していますが、2026 年度には解消するとしています。今後の値上げ路線は変わっていません。また、人頭税のような均等割りもそのままです。根本を変えなくては、今後も値上がりが続いてしまうのではないのでしょうか。「申入れ」内容実現のため頑張ります。

国民健康保険に関するご意見をお寄せください。



区長会に申し入れる共産党の都議と区議ら

発行: 日本共産党議員団 TEL: 3802-4627

e-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久 2-4-8-1 階 TEL&FAX: 3894-6668



荒川区がん検診有料化方針



区議団アンケートにご協力ください➡



2人に1人はがんになる…現在の状況です。医学、薬学は進歩して、がんは早期発見・早期治療で治る病気になってきています。

荒川区立がん予防・健康づくりセンターで行ってきた区のがん検診事業。現在は胃の内視鏡検査のみ自己負担金1,000円が必要ですが、それ以外はすべて無料でした。ところが昨年、荒川区はがん検診の有料化方針を公表しました。まだ具体的な金額などは示されていませんが、有料化によって健診受診率低下につながりかねない大問題です。2年後の全面有料化を予定しています。

日本共産党区議団はがん検診有料化方針に係る緊急アンケートをWEB上で実施しています。(右上QRコード)、予算特別委員会でも議論に活かしました。引き続き受け付けておりますので、ぜひご協力をお願いします。

男女平等推進センター(アクト21)を利用しやすく

「女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現を目指し、区民の意識変革と区民に対する啓発事業を計画的に実施することで、男女共同参画社会づくりを推進する」という目的でアクト21、男女平等推進センターを設置しています。利用したことはありますか？3月1日にはふれあい祭りが行われました。ミモザの花アレンジメントなど人気だったようです。



アクト21では女性とLGBT関連などの相談事業、貸室・貸ホールなどの事業をしています。施設稼働率は2023年度全体で32.33%と低いです。近くの尾久ふれあい館の稼働率は全体で6割以上。予算特別委員会の質疑の中で稼働率が低い理由について区は、貸室料金が割高なこと、独自事業を増やしてきているもののふれあい館より少ないことをあげました。

区民からもアクト21の貸室料金が高いとご意見が寄せられており、日本共産党荒川区議団は予算要望の中で利用料金引き下げを求め続けてきました。より多くの方に活用していただくために、改めて貸室料金を下げることを求めました。また、例えば女性用コワーキングスペースの提供など、女性のニーズをとらえた事業を行うことなども求めました。

選択的夫婦別性の早期実現を

予算特別委員会の中で、自民党議員から選択的夫婦別性導入に対して、批判的な発言がありました。子どもがかわいそう、子どもの意見を聞いて、とのことでした。今でも別性を名乗る家族がいます。「かわいそう」という一方的で個人的な価値観を他の家庭に押し付けるべきではないと思います。昔、「共働きの子どもはかわいそう」と言われていたことを思い出しました。



選択的夫婦別性は「選択的」なのでこれまで通り婚姻後に同じ姓を名乗りたければ同姓を選べます。これまで選べなかった別性も選べるようになります。旧姓通称使用で職業生活上や日常生活上で受けていた不便・不利益が解消されます。名前はアイデンティティのひとつ。男性も女性も同じで、人として最も大切にされるべきことのひとつです。世界を見渡せば夫婦同姓は日本だけ、経済界も「早期実現を」求めています。ご意見をお寄せください。



日時: **3月21日(金)** 18:30~20:00 TEL&FAX:03-3894-6668 **要予約**
会場: **北村あや子事務所(西尾久2-4-8 1階)**
日々の生活、仕事、相続…ひとりで悩まずに相談を。
弁護士と北村がお伺いします。

